

2015年(平成27年)4月5日 No.666

2015年 新入社員入社式



入社式での竹下社長の歓迎挨拶(要旨)

マルカキカイは1946年の会社設立以来、今年で69期、来年は70周年の節目を迎える歴史と伝統を持つ会社です。これは時代の変化に動じない企業哲学と、時代の変化に対応する柔軟性を経営の柱としてきた証であります。

企業哲学である社訓は「人生是誠也」で、「まじめに人のために働けば、必ず報われる」という創業者田中嘉助の信念が込められた言葉です。経営基本目標の1つ「個人の幸福、会社の繁栄、社会への貢献の三つが一致する経営を追求する。」は、会社組織は、「社員は苦楽をともにして、同じ釜の飯をいただく同士」の集団であり、個人主義ではなく、自分が組織の一員として責任を全うすることと併せて、お互いが助けあう共存共栄の運命共同体であること、会社の目的は世の中のお役に立つことであることを定めた成句です。

変化に対応する柔軟性は時代とともに求められる内容が異なりますが、基本の姿勢に変わりはなく、何事にも進んでチャレンジする「進取の精神」、できるまでやり抜く「熱意と執念」、夢を現実化する「夢なき者に成功なし」の3つを常に心に銘記してください。

吉田松陰の言葉に『「できない」は「やらない」だけだ。』とあります。今迄は学生として知識の習得に励まれましたが、今日からは社会人として知識を社会の実践で生かすことに励んでください。知識は実践に生かしてこそ価値があります。

頭で考えるだけで行動しなければ、いつまでも結果が出ません。行動する前にそれがどれくらい難しいかを予想する人がいます。やっても出来ないと、やる前から結論づけて出来ない理由を探します。これでは創造的な仕事はできませんし、人生の夢を持つことも叶いません。

仕事について「自分のやりたいことが見つからない」「こんな仕事をしていても意味があるだろうか」と思い悩む人の話を聞きますが、思い悩んだまま、いたずらに時を過ごすことはもったいないと思います。それよりも、いま目の前にある仕事を「自分のやるべき仕事」と定め、日々精進するほうがむしろ迷いがなくなり、その過程で新たな道が開けてきます。「継続は力なり」と言われますが、続けていくことが自分自身のアイデンティティを確かなものにする基本です。あれこれ考える前に、まず一歩前へ踏み出す行動力が大切です。

今月のことば

乾 相談役

○ リーダーシップ

部門の責任者であれば、基本計画に沿って日常業務に目を配り、管理を怠りなくすることは基本であるが、それだけではリーダーとは言えない。リーダーとはリーダーシップを発揮する人である。部員が一致団結して目標に向かうためにはどうすべきかを常に考え、部員の意欲を引き出す仕組みをつくることがリーダーとしての役目である。「創る、伸ばす、守る」をそれぞれ明確に担当を決めて目標に向かって前進するのがリーダーである。自らが先頭に立って動くことも重要であるが、チーム一同を一つの目標に向かって進展させることがより重要である。部下をバックアップして、仕事をしやすいように支援、指導することがリーダーとしての責任である。チーム全員のレベルアップとチーム内の協力でチームを前進させなければならない。リーダーは自分が目立つのではなく、黒子として手柄を部下のものになるように盛り立てることが仕事である。部門の責任者は計画達成と部下の成長育成が最大の責務である。

○ 成長に向かったマネージ

組織的に部、課の編成があるが、人数の多いところと少ないところが出来てきた。人数が少なければ一人で何役も担当せざるを得ないが、多ければ分担することができる。分担する際には、適正に役割を割り振ることが重要になる。

業務の内容によっては、短期間で結果が出るものがある一方、長期間かけてもなかなか結果がないものがある。これを短期の結果だけで評価し

ていては、目先ばかりに囚われて長期的視野に立つ人間は育たず、大きな花を咲かせることはできない。人を育てなければいけないことは自明であるが、仕事の内容を良く把握し、適正な分担を明確にすることが大切である。

現在当社は躍進計画を立てており、こういう時にこそ将来に向けての先行投資、効率アップ、事業改革、無駄を排除するなど積極的に手を打つことが必要である。会社の中で自分が担当する役割を良く認識して欲しい。仕事はやればやるほど増えてくる。やらなければならない仕事は次々と出て来るが、この難関を突破して推進してもらいたい。人員も増え、仕事も増えて発展していくよう頑張ろう。

○ 着目大局 着手小局

今までの延長的発想だけでは成長に限界がある。新しい商品、新しいユーザー、新しい事業を作り出す必要がある。成長路線に向かう為には、「着目大局 着手小局」で取り組まねばならない。着目する時に枝葉の問題ばかり議論してはうまくいかず、行動を起こすときに大雑把で隙間だらけで失敗する。例えば、新規ユーザーの開拓をする場合、一度の訪問でできない言い訳をしている様では、ただ漠然と仕事をしていると言われても仕方がない。執念と粘りが無ければいつまで経っても実績は上がらない。時間がかかってでも、やるべき仕事は絶対にやるという気概があつてこそ物事は前に進む。大局を見て、それに向かって執念を持ち密度の濃い行動をとる、「着目大局 着手小局」であつてこそ成長が達成できる。

マルカの動き

3月

動き

- 3月 2日 新キャンペーンオープニング
訓示
- 3月 4日 建機全体会議
- 3月 13日 東南アジア全体会議

辞令

中部支社長付次長	徳山 克志
名古屋産業機械第二部 第一課長	藤木 慶吾
大阪産業機械第二部 第二課	白井 真之
岡山支店	中野 拓未

(3月1日付)

表彰

◆殊勲賞

名古屋産業機械第二部長	栗栖 俊彦
大阪産業機械第二部第一課長	河村 浩和
東京産業機械部第二課長	安藤 幹雄
	*2本受賞
東京産業機械部第三課長	森下 周平
マルカ・上海 部長	劉 颯
マルカ・アメリカ 部長	藤木 慶吾
マルカ・広州 課長	黒田 淳児
マルカ・メキシコ	千葉 恭平

◆一般表彰

【貿易実務検定C級】

大阪建設機械部 主任	塩川 司
国際営業部 海外業務課	田中 聖子

一括有期事業申請勉強会実施

2015年3月17日に本社会議室にて総務部主催で一括有期事業申請についての勉強会を行いました。申請意義から申請方法といった実務的な部分を説明し、今後の業務に役立てていただくという趣旨の勉強会でした。労災保険という重大なテーマのため、皆様の関心度も高く、多数の営業、業務の方に集まっていたいただき、様々な意見が飛び交う勉強会となりました。営業視点での実態に即した指摘もいただき、新たな発見もあり、今後に生かせるものになりました。

1回で終わりにするのではなく、いただいたご意見を反映した形での資料の改良を行い、2回目以降は他拠点の方にも出席していただけるような形で計画をし



ております。また、こういった勉強会を継続的に開催し、営業と管理部門の連携強化、社内周知の徹底を図っていきます。



アジア NOW 2015年 4月

		タイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン	台湾	広州	備考
GDP成長率 (%)	2014年	2.0%	5.1%	4.6%	6.4%	3.4%	7.4%	推定値
	2015年	4.5%	5.2%	6.2%	6.7%	3.5%	6.5%	予測値
物価上昇率 (%)	2014年	2.1%	6.0%	3.5%	4.8%	1.4%	1.1%	推定値
	2015年	2.4%	5.0%	3.5%	4.9%	0.9%	2.4%	予測値
為替相場 (対米ドル)	15/ 1/10	B32.13	Rp12,701	M\$3.35	P44.95	NT\$32.00	RMB6.126	1\$=118.59円
	15/ 2/10	B32.73	Rp12,785	M\$3.36	P44.31	NT\$31.48	RMB6.250	1\$=118.49円
	15/ 3/10	B32.57	Rp13,059	M\$3.60	P44.27	NT\$31.70	RMB6.157	1\$=121.47円
	今後の傾向	→	↘	→	↘	↘	↗	
短期金利		2.15%	7.50%	6.25%	4.13%	4.13%	5.35%	
	今後の傾向	→	↘	→	→	→	→	
失業率		1.00%	6.10%	3.10%	7.20%	3.71%	4.50%	

マルカ駐在員からのコメント

タイ工業連盟自動車産業部会は、1月のタイ国内自動車生産が前年同月比2.2%増の16万台になったと発表した。前年同月比プラスは19カ月ぶりである。国内販売は不振が続いているものの、輸出が好調に拡大した。

1月の工業生産指数は、22カ月で連続低下しているものの、減少幅は縮小。内容としては、自動車が輸出増による増産傾向を見せる一方、テレビ受信機、エアコン等が欧州、日本、中東への輸出減により減産している。国内の消費マインドは未だ回復しておらず自動車輸出にみられるように国外需要に手助けされている状況である。

インドネシア外国為替市場のルピア相場は米経済の改善などを背景に続落し、1998年8月以来約17年ぶりに1ドル=1万3,000ルピア台まで下落した。

インドネシアの製造業購買担当者景況指数が2月は47.5となり、前月の48.5からさらに低下したと発表した。2011年4月の調査開始以来の最低値を更新した。景気の拡大と縮小の判断の境目となる50を5カ月連続で下回っている。こういった現象はドル高に伴う購買価格や製品の販売価格上昇のため、需要が縮小していることが背景とみられる。

2014年における投資融資額(認可ベース)は、過去最高の2,359億リングギとなった。2013年は2,194億リングギだった。

ムスタバ・モハマド通産相が、マレーシア投資開発庁による2014年の投資パフォーマンス発表の場で明らかにした。

昨年の投資誘致額の72.6%が国内直接投資で、残りの27.4%が外国直接投資で、投資案件数は5,942件だった。

内訳としてはサービス業が1位で63.4%、2位は製造業で30.5%、3位が一次産業で6.1%であった。サービス業で約10万人、製造業で約8万人、一次産業で約1,500人の雇用の創造が見込まれる。

日系メーカー4社に台湾系キムコを加えた自動車二輪開発計画参加社協会加盟5社の2月の新車販売台数は、前年同月比1.2%増の6万6,299台だった。1~2月の5社の販売台数は前年同期比0.7増の12万6,806台であった。その中でも日系4社では1.3%増の12万4,461台であった。

参加企業各社のシェアは1位のホンダ・フィリピンズが41%、2位のカワサキ・フィリピンズが24%、3位のヤマハ・モーター・フィリピンズが18%、4位のスズキ・フィリピンズが15%、5位のキムコが2%となっている。

3月3日から8日まで台北市で工作機械の見本市「2015台北国際工具機展」が開催された。

主催者によると、期間中に会場を訪れた来場者は約4万7千人、うち海外のバイヤーは7,130人で過去最高を更新した。最も多かった海外からのバイヤーは中国で1000人を超え、それに続き日本が約900名だった。

今年の工具機展には、1,015社が5,411コマのブースを設置。海外からは18か国・地域の260社が参加した。うち29社が台湾企業73社と商談に臨み、3,500万米ドル(約42億3,600万円)の商機を創出したと発表された。

広東省環境保護庁はこのほど、同省で昨年スモッグが発生した日数は前年と比べて2.8日減少し、11年来で最も少なかったと明らかにした。

大気質量指数(AQI)が100以下(「優」または「良」に相当)だった日数は昨年通年で85%に達した。同省の製造業の集積地である珠江デルタ地域では、AQIが100以下だった日数が298日と年間の82%にのぼり、北京、天津市、河北省の142日、長江デルタ地域の44日を大きく上回った。しかしながら、依然として人体に良い環境とは言えず、駐在員においては引き続き注意が促されている。

2015年度 建機全体会議開催

3月4日(水)本社にて、国内、海外の営業拠点より建設機械部門の社員、オブザーバーを含め、26名が出席し、2015年度建設機械部門の全体会議が開催されました。

竹下社長の「当社の歴史と経営訓示」からスタートし、吉儀担当役員から「経営プラン達成のための施策」、高木経営企画室長から「全社経営プラン」の発表があり、その後、各員から2014年の達成状況、2014年度営業目標に対する課題と達成手段と今後の見通しについて発表がありました。

今回もシンガポール事務所からLAU新シンガポール事務所長が参加し、東南アジアの状況と、今後の展望の報告がありました。また、ジャパンレンタルから高岡常務、甲田執行役員が出席し、業績報告と共に、新設した千葉営業所の現状説明がありました。



最後に砂河本部長が総括しましたが、本年度も好況を持続する建設機械業界において、新車・中古車販売のみならず、レンタル、環境機器分野への伸長を目指す建設機械本部、更なるグローバル化に向けて、熱い議論が飛び交った日となりました。

2015年度 第3回東南アジア全体会議開催



東南アジア全体会議集合写真

3月13日に、マルカ本社より竹下社長、飯田取締役、タイから東南アジア・インド統括の真鍋統括本部長、インドネシア・マレーシア・フィリピン・インドの経営責任者がマレーシアへ参集し、各拠点ごとの営業方針、設定した目標の進捗状況を発表いたしました。

竹下社長より、2015年度マルカキカイグループのスローガンである『M1 Go for 70/70』に込められた思いと、2016年度の創業70周年の記念の年に売上高700億円、2020年度には売上高1,000億円の達成に向けて本年度を飛躍の年とするための重点営業方針の確認と円安メリットを商機と考え、日本製機械の積極的



親密取引様工場見学にて

販売することなどの指示がありました。

飯田取締役と真鍋統括本部長からは、『M1 Go for 70/70』を達成するための具体的な指示がありました。

各拠点長からの会議終了後、マルカマレーシアの親密取引様を訪問させて頂き、同社の工場見学と同社の全面のご協力の下、新しいマルカのビジネスモデルとしてマルカマレーシアが運営し同社向けに消耗品、サービス部品などを供給しているマルカパーツセンター(略称:MPC)を見学して頂きました。

今回の会議が、各拠点の更なる飛躍に繋がることを確信し、盛会の内に会議は終了しました。

取扱商品

ドイツerkat®社製

1t~125t 油圧ショベル用 ダブルヘッド ドラムカッター

TRANSVERSE DRUM CUTTERS

信頼性・耐久性

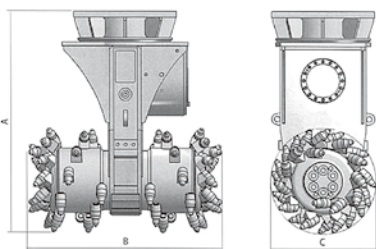
- ・超大型軸受カッターヘッド
- ・巨大で頑丈な平歯車
- ・耐摩耗性ギアハウジング・ピックボックス

低騒音・低振動

- ・騒音や振動の気になるエリアでの使用可能

調整可能

- ・360度回転可能なコンソールにより掘削機から外さずに作業方向の変更可能
- ・交換可能なドラムカッターヘッドにより様々な現場に対応可能



- ・溝掘り・トンネル掘削・解体工事・砕石・特殊な基礎工事
- ・水中施工・土壌混合・オーガー削孔・鉄鋼業・道路建設
- ・林業・天然石産業・過酷な環境にも最適



技術データ	単位	ER 50	ER 100	ER 250	ER 600	ER 650
ドラムカッター長さ(A)	mm	610	805	965	1,130	1,200
標準カッターヘッド幅(B)	mm	480	610	680	780	800
標準カッターヘッド直径(C)	mm	225	370	450	575	575
最大動作油圧 ¹⁾	bar	350	350	350	350	350
350bar時のトルク ¹⁾	Nm	960~1,420	2,100~3,120	3,500~5,200	8,700~10,400	9,400~14,000
350bar時の切削力	N	8,500~12,600	12,000~17,800	15,600~23,200	30,200~36,200	32,700~48,700
重量	kg	140	310	470	820	1,000
推奨油圧ショベルサイズ	t	1~3	3~7	8~15	10~18	15~25



技術データ	単位	ER 1500 X	ER 1500 XL	ER 2000	ER 3000	ER 5500
ドラムカッター長さ(A)	mm	1,420	1,420	1,580	1,650	1,970
標準カッターヘッド幅(B)	mm	880	1,000	1,240	1,330	1,600
標準カッターヘッド直径(C)	mm	670	670	680	805	920
最大動作油圧 ¹⁾	bar	350	350	350	350	350
350bar時のトルク ¹⁾	Nm	13,600~23,400	13,600~23,400	22,300~33,500	31,200~46,900	74,300~109,100
350bar時の切削力	N	40,600~69,900	40,600~69,900	65,600~98,500	77,500~116,500	161,600~237,200
重量	kg	1,750	1,850	2,600	3,500	6,000
推奨油圧ショベルサイズ	t	20~40	20~40	35~50	50~70	70~125

お問い合わせは

マルカキカイ株式会社

東京建設機械部へ

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町22番6号 マルカ日甲ビル3F
TEL:03-3808-1555 FAX:03-3808-1030 <http://www.maruka.co.jp>